



©山本倫子

# New Year Concert 2019



© Kiyotaka Saito

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番「皇帝」\*  
ドヴォルザーク:交響曲第9番「新世界より」

小林研一郎  
(指揮)

Ken-ichiro KOBAYASHI, Conductor

仲道郁代\*  
(ピアノ)

Ikuyo NAKAMICHI, Piano

東京都交響楽団  
(管弦楽)

Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

※曲目・演奏者は変更となる場合がございます。



2019 **1.19** [土] 14:00 開演 | サントリーホール  
(13:15 開場) 大ホール

**S** 席: ¥6,000   **A** 席: ¥4,500   **B** 席: ¥3,000   **P** 席: ¥2,000

※未就学児入場不可 [全席指定・税込/P席はステージ後方の座席です]

### プレイガイド

■ ソニー音楽財団  
オンラインチケット  
www.smf.or.jp



- チケットぴあ (Pコード: 121-726) t.pia.jp 0570-02-9999
- イープラス eplus.jp
- サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (休館日を除く10-18時)
- 都響ガイド www.tmsa.or.jp 0570-056-057 (平日10-18時)

最速先行発売 : ソニー音楽財団オンラインチケット 8月30日(木)~

プレイガイド先行発売 : イープラス・ぴあ(インターネットのみ) 9月6日(木)~9月19日(木)

一般発売: 9月20日(木)

コンサートの収益金は、日本赤十字社へ寄付され、献血運搬車の購入、整備資金に充てられます。

献血は、誰か見知らぬ人の、たった一つしかない命の支えに、自分のための血液を分かち合う“命の贈り物”です。

本企画は、HIV/AIDS問題をきっかけに大きく社会問題化された「献血」に対する認識をより一層高めるために、1990年よりスタートしました。1999年には「献血思想」の普及や献血推進運動の進歩発展に特に優れた功績のあった個人・団体に贈られる最高の賞である「昭和天皇記念献血推進賞」を受賞しました。

当公演の収益は、どんな非常時においても、誰でも、いつでも、安全に献血で治療を受けられる環境がより整うことを願い、“献血運搬車の購入・整備等の血液事業への充当”に目的を限定して日本赤十字社に寄付いたします。

このコンサートの主旨をひとりでも多くの方にご理解いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

公益財団法人ソニー音楽財団

2017年度(第58回)までの累計寄付金額:101,455,892円

### 小林 研一郎 〈指揮〉

Ken-ichiro KOBAYASHI, Conductor



©山本倫子

東京藝術大学作曲科および指揮科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクールでの鮮烈な優勝を飾ったのを皮切りに、世界的に活躍の場を拡げ、現在も国内外の第一線で活躍を続けている。特に、ハンガリーでの活躍は目覚ましく、その功績に対してハンガリー政府よりリスト記念勲章、ハンガリー文化勲章、民間人最高位となる星付中十字勲章、ならびにハンガリー文化大使の称号が授与されている。また、国内では文化庁長官表彰、旭日中綬章を受けている。

作曲家としても数多くの作品を書き、1999年には日本・オランダ交流400年の記念委嘱作品、

管弦楽曲『パッサカリア』を作曲、ネーデルランド・フィルで初演されると、聴衆から熱狂的な喝采を以て迎えられた。同作品はそれ以降も様々な機会に再演されている。

精神的な音楽活動の他に、各種媒体への寄稿などエッセイの執筆も行っており、その繊細で情感豊かな語り口でマルチな才能を発揮している。既刊の書籍には、『指揮者のひとりごと』(騎虎書房)、『小林研一郎とオーケストラへ行こう』(旬報社)がある。

現在、日本フィルハーモニー交響楽団桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団特別客演指揮者、九州交響楽団の名誉客演指揮者等を務めるほか、東京文化会館音楽監督、長野県芸術監督団音楽監督、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授の要職にある。

### 仲道 郁代 〈ピアノ〉

Ikuyo NAKAMICHI, Piano



© Kiyotaka Saito

桐朋学園大学1年在学中に日本音楽コンクール第1位・増沢賞を受賞。ジュネーブ国際コンクール最高位、エリザベート王妃国際コンクール入賞。これまで日本の主要オーケストラと共演する他、マゼール指揮ピッツバーグ響、バイエルン放送響、フィルハーモニー管、パーヴォ・ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルなどと共演。

デビュー30周年を迎えた2016/17年シーズンは、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団、ハンガリー国立フィルハーモニー

管弦楽団とのツアーやBSフジでの冠番組も放送された。併せて、CD『ショパン:フルツ』、『永遠のショパン』、『シューマン:ファンタジー』やDVD『ショパン・ライヴ・アット・サントリーホール』をリリース。

2018年度からは、「Road to 2027」と題し、春のベートーヴェンを核にしたシリーズと秋のピアノを追求したシリーズを10年にわたって開催する。春のシリーズ第2回は2019年5月26日(日)サントリーホールにて開催予定。

著作には『ピアニストはおもしろい』(春秋社)などがある。地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。

仲道郁代オフィシャル・ホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com>

### 東京都交響楽団 〈管弦楽〉

Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立(略称:都響)。現在、大野和士が音楽監督、小泉和裕が終身名誉指揮者、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務めている。

定期演奏会などを中心に、小中学生への音楽鑑賞教室(50回以上/年)、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での訪問演奏、ハンディキャップを持つ方のための「ふれあいコンサート」や福祉施設での出張演奏など、多彩な活動を展開。

CDリリースは、インバルによる『マーラー:交響曲全集』のほか、交響組曲『ドラゴンクエスト』(全シリーズ)まで多岐にわたる。

2015年11月にベルリン、ウィーンなど5ヶ国6都市をめぐるヨーロッパ・ツアーを行い、各地で熱烈な喝采を浴びた。《首都東京の音楽大使》として、来たる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、文化芸術の活性化を目指している。

公式WEBサイト <http://www.tmso.or.jp/>



MIKIMOTO

株式会社ミキモト・株式会社御木本真珠島・御木本製薬株式会社